

銀漢亭日録



伊藤伊那男

4月9日(水)

▼発行所「梶の葉句会」の選句へ。店、閑散。「月の匣」水内主宰、亀戸の名店の鯖鮓二本お土産に本店。山形のあべ小萩さんと。早めに帰宅すると桃子が宮澤と英語のレッスン中。宮澤の初のドキュメンタリー映画「うみやまあひだ」「伊勢神宮の森から響くメッセー」が完成し、ワシントンの「全米桜祭り」で試写会の運び。そこで舞台挨拶のレッスンと。

10日(木)

▼閑中の閑。二十二時半、店閉める。

11日(金)

▼宮澤渡米中にて、怜輔の成城幼稚園入園式に付き添い。初めて成城学園のキャンパスに入る。もっぱら写真の係。十四時、角川・打田氏と新刊本打ち合わせ。店、対馬康子さん友人と。嬌恋村の柴山つぐ子さん、佐藤さゆりさん来店。お土産いろいろ。大野田、洋酔さん来て盛り上がる。高校先輩の伊藤文明（「秋麗」）、大塚紀年（「岬」）卒業五十周年の打ち合わせあととて寄って下さる。大塚さんは私の実家の町内会。そこへ岩波社友の今井さん来店。この方は実家から百数十メートルという近所にて、何とも……。またまた寝過して京王線に入り、明大前にて終電。トホホ……。

12日(土)

▼十時、運営委員会。昼、「いもや」の海老天。十三時より「銀漢本部句会」。選者の杉阪、禪次、眞理子さん欠席ながら五十四人と盛況。春の陽気と満腹で眠い眠い。次郎さんに仕切ってもらう。あと、「なに

わ」にて親睦会。十三名。

13日(日)

▼高井戸、杏の家のお披露目。桃子、孫と。筍煮で持参。庭のウッドデッキ設営はまだ工事中。ワイワイ飲んで一眠り。帰宅して二十二時には就寝。

14日(月)

▼松代展枝さんお誕生会。なんと二十五人程が集まる。最後はビンゴゲームで盛り上がる。あと展枝さんを囲み六名程で「ふくの鳥」。京都・伸子さんより筍到来。

16日(水)

▼広渡敬雄氏、会社仲間と六人。発行所「はてな句会」あと四人。「三水会」七人。駒ヶ根市の宮澤宏治さん、駒ヶ根市誌の一部コピー送ってくれる。昔の市の風景などに見とれる。

17日(木)

▼升本栄子さんより電話。九十三歳になられる春耕会員の丸川房子さんの句集を送ってくださいと。店、「銀漢句会」あと十四人。

18日(金)

▼「薦句会」あと三人。踏青子さん、武蔵高校時代からの学友と会合あと五人で寄って下さる。中には昭和天皇の執刀医の方も。

19日(土)

▼洋酔さんの第二句集の句稿闊す。宮澤、福岡出張と。その前に一緒にワインで昼食。今週は日帰りの京都出張もあり多忙の様子。十九時、日暮里・本行寺へ。「月の匣」創刊四周年記念祝賀会に招待受ける。当方、展枝、いづみさんも。あと町に出て盛大なカラオケ大会。

20日(日)

▼二日酔い。上の孫二人は駆けっこクラブの大会で代々木競技場。宮澤、福岡出張中にて終日、下の孫二人の子守り。

21日(月)

▼「演劇人句会」七人。皆川文弘さん、いわきの下見で何か支障はなかったかどうか？と心配して寄って下さる。山崎祐子さんに欲待していただいたようだと言うと、多分、屋号「塩屋」という名家の方ではないか？と。

22日(火)

▼IMAGICAポA東京映像センターにて宮澤の初監督ドキュメンタリー映画「うみやまあひだ」の完成披露試写会に。あと、ランチレセプション。「萩句会」選句へ。店、硯児、坪井、対馬康子さんなど。終わって対馬さんと餃子屋にて小酌。

23日(水)

▼「雛句会」七人。洋酔さん句集の件、打ち合わせ。二十二時に閉めて、「ふくの鳥」。閑だとしてその店で飲むという悪い習慣。

24日(木)

▼池田のりをさん、パリ出張の仕事仲間と五人。「天為発行所句会」あと四人。遅くに一平さん他、句会あと八人ほど。

25日(金)

▼発行所、十四時より「門」同人句会（鳥居真里子さん他）に貸し出し。夜、「金星句会」店は閑散。井上井月顕彰会・堀内功会長来店。「銀漢」への基金二万円を戴く。

26日(土)

▼「纏句会」。十人と少ない。句会あと鯉の叩き、めばるの煮付け、桜蝦のかき揚げ、生海苔揚（兼題）、酒は「十四代」の生酒。あと握り。日本橋の三重県アテナショップに寄り、松阪の宮崎屋の「養肝漬」を入手。以前は取り寄せたほどの好物。宮澤の伊勢神宮の写真集を販売しているのも嬉しい。

28日(月)

▼ゴールデンウィークの様相。店、開いてはみたもの

29日(火)

の……超閑散。
▼家族の会。大人五人。孫六人。映画の完成祝いと、ひと足早く子供の日の祝い。ローストポーク、からすみ、イカの豆鼓炒めなど作る。ここ二日程で六月号の原稿書く。「雲の峰」誌への「そして京都」二回分程書き溜める。俳人協会来年のカレンダーへ句送る。

30日(水)

▼池内けい吾さん鮎子の釘煮届けて下さる。好記さん井月の資料沢山、伊那の図書館でコピー取ってきてくれる。てる緒さんバニラと。元氣！

5月4日(日)

▼「春耕同人句会」いつもより少し早めに着いたなと、中野サンブラザの七階でエレベーターを降り、「未来図」の部屋をちらと覗くと静かに選句中。あれ、いつもなら受付の最中なのに……。うっかり一時間間違えていて、春耕も選句中。結局、出句はせず途中からの選句。連休呆けか……。あと「炙谷」で親睦会。五、六人でもう一軒廻る。池内さんの伊予弁の話「へらこい」など楽しく。大竹憲治氏に「銀漢」への寄稿の礼状。

7日(水)

▼連休明け。発行所「きさらぎ句会」あと八人。「宙句会」あと九人。思えば今日から店は十二年目に入る。つぶれずに今日まで……。

8日(木)

▼ワッシー、宗一郎、直さんなど。客少なかったが、後半、一平、うさぎ、敦子、文子、清人、近恵と俳句仲間でカウンターが埋まる。一般客、オリックス時代の高木氏も来て、零時近くまで。